

〈令和7年度 内町小学校 学校評価〉

① 学校教育目標 校訓「至誠」の精神のもと、互いを大切にしい、心豊かにたくましく生きる児童の育成

② 学校経営ビジョン

【めざす子ども像】
 ・自ら学び、考え、深める子
 ・自分も人も大切に
 ・たくましく、しなやかな子

【めざす学校像】
 ・いきがいのある学校
 ・やりがいのある学校
 ・あたたかい学校

【めざす子ども像】
 ・自ら学び、考え、深める子
 ・自分も人も大切に
 ・たくましく、しなやかな子

③ 本年度の重点課題(目標)と評価

重点課題	重点目標	重点目標評価	総合評価
①「主体的・対話的で深い学び」の実現	①タブレット端末の活用を通じた個別最適な学びの推進 ②協働的な学びによる学力の向上 ③読書活動の充実と読書の習慣化	B B B	B
②人権教育・特別支援教育の充実	①自尊感情・自己肯定感の育成 ②ポジティブな行動支援の実践 ③支え合い、学び合い、高め合う仲間づくり	B B B	B
③豊かな心と健やかな体を育む教育の推進	①道徳教育や地域の素材を生かした活動の推進 ②あいさつやそうじの徹底 ③運動習慣の確立と体力の向上	B B A	B
④信頼される学校づくり	①家庭や地域との連携の強化 ②学校評価を活かした教育活動の改善 ③積極的な情報発信と開かれた学校づくり ④防災教育の推進	B B A B	B

【学校改善に向けて】

校訓『至誠』の精神のもと、「互いを大切にしい、心豊かにたくましく生きる児童の育成」を学校教育目標として、4つの重点課題を定めて各種教育活動を実施してきました。1月に地域の方や保護者、児童にアンケート調査を実施し、それらの結果をもとに改善点等を話し合いました。

【重点課題①】

『「主体的・対話的で深い学び」の実現』について

4月に今年度の「学力向上改善プラン」を作成し、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に努めました。児童へのアンケートでは、⑧「授業はよく分かるか」92.7%、⑨「授業中すすんで考えようとしているか」86.1%といずれも肯定的評価の割合が高かったものの、⑩「授業中自分の意見や考えを伝えているか」は、昨年同様69%と他の項目と比べて低くなっています。引き続き自分の意見や考えを積極的に伝えられるような授業の工夫・改善を行っていきます。

GIGAスクール構想の実践に関しては、教員のICT活用の研修を実施し、日々の授業の中でタブレットを活用してきました。児童へのアンケートでは、⑪「タブレットを使った学習に進んで参加」が93.5%と昨年よりも高くなっています。一方、保護者アンケートでは、⑤「タブレットを学習に進んで取り組んでいる」が77.2%と児童のアンケートと差が開いています。1月にタブレットが新しくなり、操作性が向上しました。家庭での活用の仕方については、引き続き検討し、児童がタブレットを活用した学習により意欲的に取り組み、学習効果が得られるようにしていきたいと考えます。

読書活動については、以前から実施している全校読書、読み聞かせボランティアの方々によるお話会、家庭での親子読書などに加えて、授業に関する本の並行読書の時間をどの学年でも確保してきました。しかし、⑭「家で本をよく読んでいるか」の質問については児童62.8%と割合が下がっています。同じ質問で保護者⑮は54.2%と昨年より9.6ポイント上昇したものの、どちらも他の項目と比べて低くなっています。読書習慣は学力向上の基盤となる大切な要素です。児童が読書の楽しさや意義を実感できる取組や授業を考慮し、読書習慣の定着を図ってほしいと思います。ご家庭でも一緒に読書をする時間を作るなど、読書習慣の形成に引き続きご協力ください。

【重点課題②】

『人権教育・特別支援教育の充実』について

重点目標の一つである「自尊感情・自己肯定感の育成」については、②「自分にはいいところがある」と回答した児童は75.6%と昨年度より高くなりました。自己肯定感を高めるために一人一人のよさが発揮できる場面(例:当番や係活動、清掃、委員会活動、異学年集団での活動、

ボランティア活動等)での活動内容をブラッシュアップしたり、ポジティブな行動支援をより積極的に実践し、自己有用感を高めていきたいと考えます。

また、道徳の学習や学級活動、帰りの会等で、児童がそれぞれの個性やよさを発揮し、お互いに認め合える機会を増やしていきたいと考えています。

【重点課題③】

『豊かな心と健やかな体を育む教育の推進』について

「ルールやマナーを守っているか」については、保護者⑯95.8%、地域⑳100%と高い評価をいただきました。「自分からあいさつをしているか」では児童㉑89.2%、保護者⑳80.8%の評価になっており、ほぼ昨年と同じでした。今後も引き続き、あいさつや感謝の気持ち等を相手に伝えることの大切さを指導していきたいと思えます。

たくましくしなやかな体を育む教育の推進については、市教委企画の「元気アップチャレンジ(ボールキャッチ、長縄跳び)」への参加も定着し、多くの児童が意欲的に挑戦しました。また、市や県の体操・水泳・陸上大会には、高学年を中心に積極的な参加が見られました。今後も、運動面の環境整備や体育科授業の工夫・改善により、児童の体力向上に向けて取組を進めていきます。

【重点課題④】

『信頼される学校づくり』について

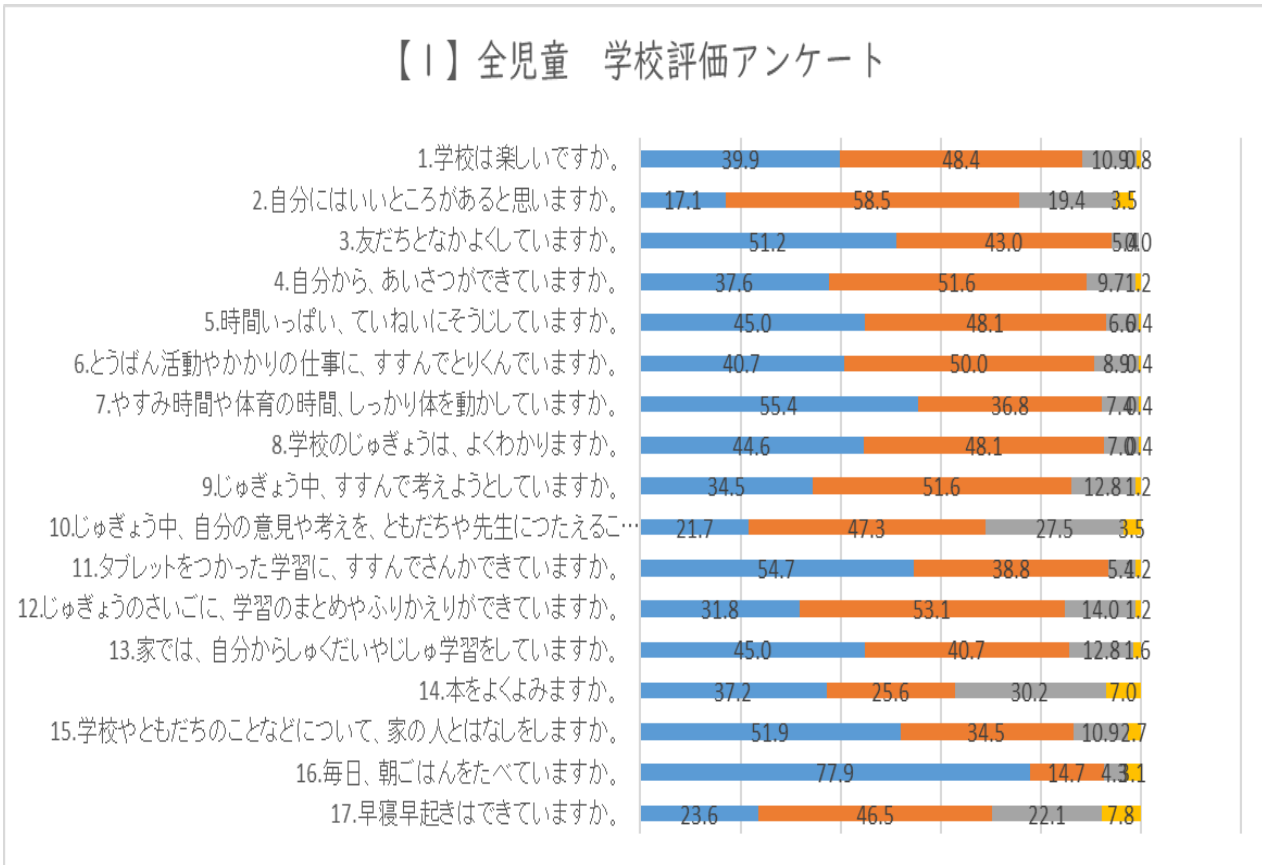
地域へのアンケート①「学校は学校公開や情報発信に努めているか」では、肯定的評価が100%、保護者アンケート④「学校は、学校・学級だよりやホームページなどを通じて情報発信に努めていると思うか」では、肯定的評価が93.1%と高い評価をいただいています。今後も、地域の方とつながり、豊かな教育活動を実施するとともに、ホームページや学校だより等とおして学校や児童の様子を発信するよう努めていきます。

今年度は、防災教育の推進に関して、各学年発達年齢に即した防災教育に取り組みつつ、災害時のトイレ対策や非常食の備蓄にも注力しました。地域アンケート⑤「防災対策・安全確保を図っているか」94.1%、保護者⑥でも同様に94.1%と高評価をいただきました。

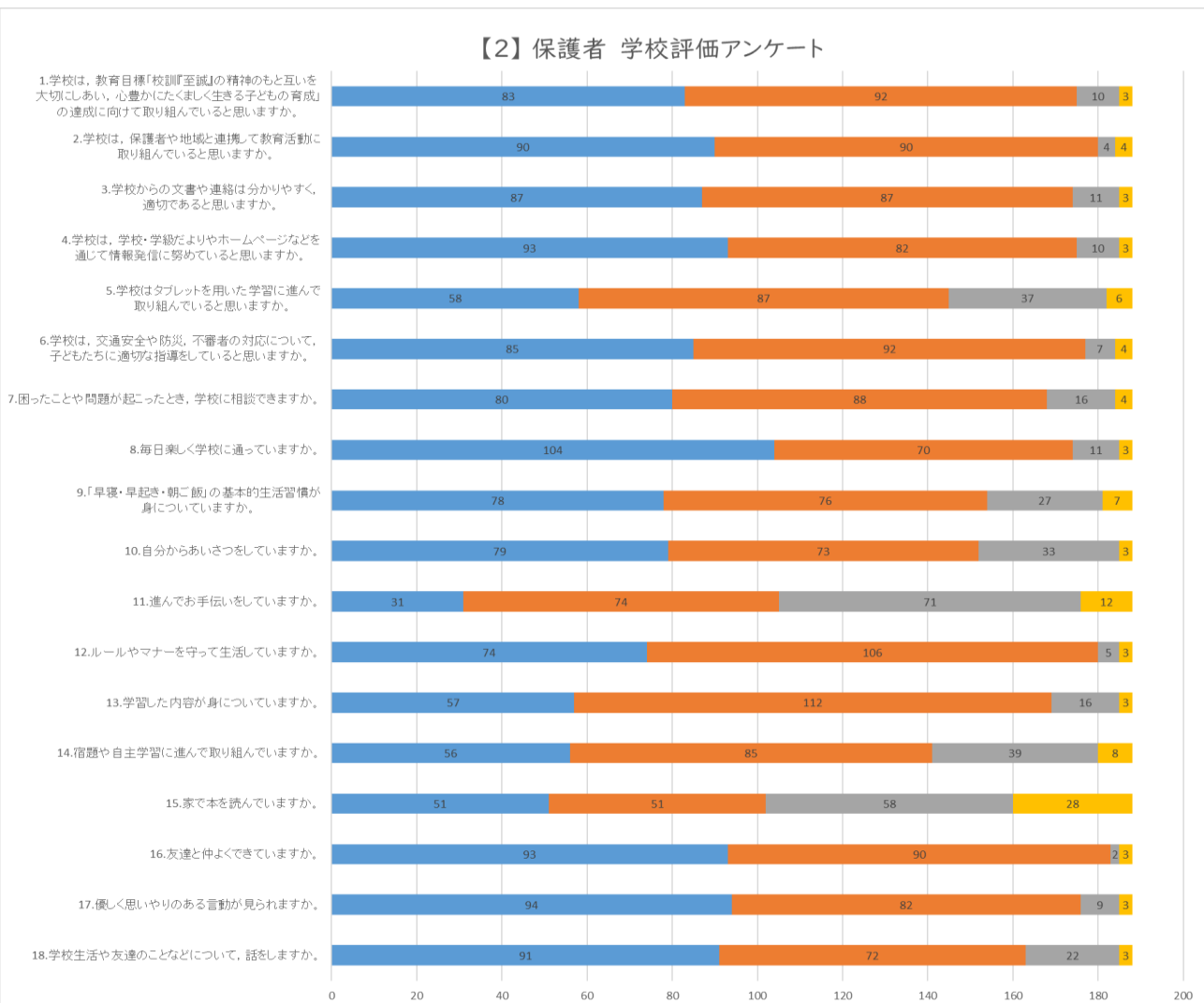
今回の学校評価結果を今後の教育活動の取り組みに反映していきたいと考えています。これからも全教職員の力を結集し、互いに切磋琢磨しながら、『いきがいのある学校』『やりがいのある学校』『あたたかい学校』をめざし、日々の教育活動を進めてまいりますので、ご支援のほどよろしくお願いたします。今回、保護者アンケートの回答率は86%でした。ご協力いただきありがとうございました。

【表1】全児童アンケート

■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまりそう思わない ■ まったく思わない



【表2】保護者アンケート



【表3】地域・学校運営協議会委員アンケート

【3】地域・学校運営協議会委員アンケート

■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまりそう思わない ■ まったく思わない

